

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	見る・聞く・食べるー自然と親しむ事業
事業主体 (連絡先)	辰野町
事業区分	教育文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	552,137 円 (うち支援金: 414,000 円)

事業内容

- ・ドングリや野菜をモチーフにしているいわさゆうこの絵本原画展を辰野美術館で開催し、小野地区に所在する旧郵便局の空き店舗と食堂を営む店舗でサテライト展示した。
- ・会期中、作者の指導により木の実などを使ったリース作りとドングリパンケーキ作りのワークショップを開催。
- ・町内全保育園で、いわさゆうこの絵本を使用した取り組みを実施した。
- ・有機農法に取り組んでいる経営者を依頼し、町内の保育園で野菜トークを開催した。



【ドングリでリース作り】

【目標・ねらい】

- ①絵本原画の展示と絵本の朗読により、子どもたちが身近な自然と野菜に親しみ、理解を広げる。
- ②縄文時代の食生活を想像し、現在の暮らしぶりを振り返る。
- ③空き家活用の手法を展望する。

※自己評価【 B 】

【理由】

小学校低学年層を対象に予定したが、町内全保育園などへ活動が広がり、空き家使用など今後への手がかりを得ることができた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・町内全保育園での取り組みや来場、若年層家庭の来館が多く、子どもたちが一層絵本に親しみ、身近な自然への理解を広めることができた。
- ・自然と共生し木の実を主食にしていた縄文時代の暮らしぶりへ視野を広げるとともに、現在の食生活を振り返ることができた。
- ・子どもたちが野菜に親しみ、給食や家庭での食事など対して理解を深める契機となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・両ワークショップには親子の参加が多く、子育て中の若年家庭を対象にしたふれあい支援の有効な活動として、今後普及していくことができる
- ・空き店舗を活用する方法は、「町じゅう美術館」として今後有効に展開することができる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある